

広報

ふじ



おしえてヨルルふじ
☎ 53-1111

平成18年

4 | 5 No.891

春満開！早咲きの桜
潤井川（ロゼシアター東側）

主な内容

平成18年度 鈴木尚市長の施政方針
平成18年度 富士市の予算
介護保険制度が変わります

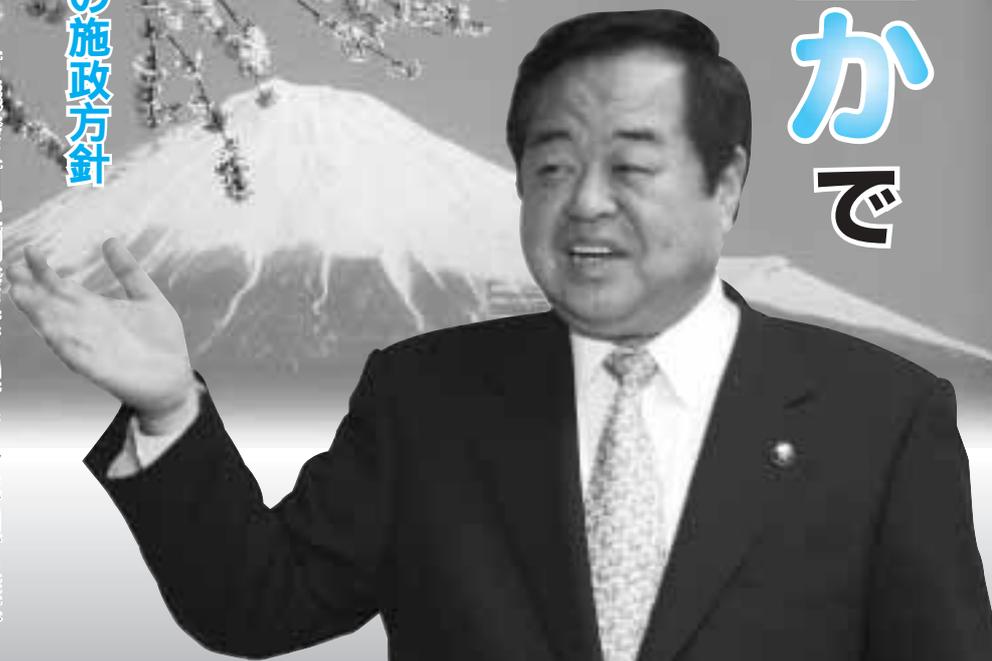
こころ豊かで

活力ある

富士市づくり

邁進まいしんの年に

平成十八年度 鈴木尚市長の施政方針



市議会二月定例会において、鈴木尚市長は平成十八年度の施政方針を発表しました。

その中で、市政運営の基本理念を「豊かな人生を謳歌できる都市、「富士市」とし、実現へ向けて全力を注いでいくことを示しました。また、平成十八年度を「こころ豊かで活力ある富士市づくり邁進の年」と位置づけ、市制施行四十周年の節目を迎えるに当たり、生き生きとした未来への展望が拓かれる事業を実施していくことを強調しました。

今回は、新年度の主な事業を紹介します。

地

方分権の時代にふさわしい
自立型のまちづくりを目指し、
少子高齢社会に備えた社会基盤づくり

「富士市行政経営プラン」に沿った、行政コストの削減と、新たな官民協働の仕組みづくり
公共施設の管理運営に、指定管理者制度を導入
公共サービスの民営化や民間委託の推進
組織機構の改革（詳しくは、「広報ふじ」三月二十日号を「らんくたさい」）
県の合併推進構想の検討 など

活

力あふれる産業都市再生に向けた
基盤づくり

「富士市工業振興ビジョン」に沿った工業振興
施策の推進、企業立地奨励金制度の活用、優良
企業進出の支援
新富士駅北側多目的施設の建設・活用の検討
TMO構想に基づく事業や商店街が行う事業の
支援、観光資源の掘り起こし など

市

民生活の充実と安全・安心な社会づくり

「富士市国民保護計画」の策定（消防・救急体制の充実や公共施設の耐震化、河川改修、有事における住民の避難や救援に関する計画）
毎月十五日を「子どもの安全を守る市民行動の日」とし、地域が一体となった防犯活動を推進
DMV（デュアル・モード・ビークル）の導入に向けた調査検討（七ページ参照） など

人と自然が調和する環境づくり



ことし1月に飛来したコハクチョウ（沼川周辺）



こどもエコクラブ交流会

地球環境

環境への負荷の低減や、子どもたちへの環境教育に率先して取り組みます。

地域省エネルギー連携モデル事業

住宅用太陽光発電設備の導入支援

丘小学校へ太陽光と風力のハイブリッド発電装置を設置

こどもエコクラブの活動支援 など

自然環境

豊かな緑と自然環境を保全し、市民が身近に自然と親しみふれあえる場を提供します。

富士山麓ブナ林創造事業

浮島ヶ原自然公園整備 など

生活環境

水質汚濁・大気汚染などの公害の未然防止対策を進め、安全で快適な生活環境を守ります。

河川・海域・地下水の水質調査、テレメータシステムによる大気汚染の常時監視

「富士スモッグ改善計画」の策定 など

廃棄物対策

資源循環型社会を目指し、ごみの減量化・資源化を促進します。

ペットボトルのステーション収集

古紙の分別収集の細分化

白色トレイの拠点回収 など

上水道事業

安全で安定した給水サービスに努め、健全で効率的な事業経営を進めます。

第七期拡張事業（親子台、陽光台など四つの簡易水道組合の統合推進） など

下水道事業

管網整備や管更生事業などを進めます。また、下水道業務の迅速化・効率化を図り、経営の健全化に努めます。

西部浄化センターの更新改築事業

「下水道総合管理システム」の導入 など

今月から始まっている「その他の紙」とペットボトルの分別回収に、ご協力を！





健やか



いきいき

で温ぬくもりのある暮らしづくり

「まちの駅」は現在22駅。
お気軽にお寄りください！

毎月第4日曜日に開催される「いちばの朝市」

仕事づくり

労働・雇用
ニート(若年無業者)対策として、ワークショップや討論会などを通じて就業意識を高めるため、「職業観教育モデル事業」を行います。

商業・流通
商店街の活性化や経営基盤の強化のため、商店街が行う商業基盤整備やイベントなどの共同事業を支援します。また、公設地方卸売市場については、引き続き「いちばの朝市」への支援を行い、市場の活性化を図ります。
TMO構想に基づく事業の支援
チャレンジショップ推進事業 など

工業
「富士市工業振興ビジョン」に基づき、中小企業の振興や人材の活用・育成を積極的に行うほか、企業の誘致を進めます。
工業振興会議の創設
「中小企業振興条例」の制定
起業家支援セミナー・ステップアップセミナーの開催
企業&OB人材マッチング事業 など



起業家支援セミナー

農林業
新鮮で安全な農・畜産物の生産供給を支援し、地産地消を進めるほか、土地改良事業を行います。また林業では、「富士市林道管理条例」に基づいて林道を適性に管理し、林業の振興と森林の機能の保全を図ります。
比奈地区農道改良事業 など

観光
観光資源を活用し、交通機関や観光団体との連携を図りながら、「富士山のまち・富士市」「美しいまち・富士市」をPRします。
「まちの駅」の拡大
富士山百景写真コンテスト開催 など



富士山百景写真コンテスト



岩松かりがね学童クラブ「友達いっぱい、楽しいよ！」

すくすく赤ちゃん講座で行われる育児相談



保健

「保健総合情報システム」により、保健事業の効率化を図ります。また、疾病の予防や健康診査を充実させるとともに、高齢者の健康維持や介護予防を図ります。

母子保健事業としては、出産や育児不安の解消、虐待防止のため、育児支援家庭訪問事業を充実させます。

介護予防検査事業
勤労者健康対策協議会の設置 など

医療

突然の心停止に対応し、救命率の向上を図るための自動体外式除細動器（以下AED）を、小・中学校や公民館などの公共施設に、計八十台配置します。また、市民の医療に関する理解を深めるため、「医療推進市民講座」を開催します。

中央病院については、医師の確保や医療安全対策に努め、急性期医療に重点を置いた、地域の基幹病院としての役割を果たします。

保険事業

介護保険については、「第三期介護保険事業計画」により、介護予防のための地域支援事業や、四月から新設される「富士市高齢者地域包括支援センター」で総合相談事業を行うなど、高齢者への支援を充実させます。

国民健康保険については、医療費の適正化と財源の確保、疾病の重症化予防を図ります。
人間ドックの定員増員 など

市民相談

消費者被害の防止のため、講座などの啓発活動や情報提供を積極的に行います。

福祉

地域福祉については、「富士市地域福祉計画」に基づいて、地域に密着した福祉活動を進めます。また、配偶者などによる身体的・精神的暴力（ドメスティック・バイオレンス）に対する相談体制を強化・充実させます。

障害者福祉については、障害者自立支援法」施行に伴い、関係機関や各事業所との連携を強化しながら、障害者のコミュニケーション支援・就労支援に取り組みます。

高齢者福祉については、「ねりんピック静岡2006」の実施に伴い、県富士水泳場で水泳交流大会などを開催します。

障害者ピアヘルパー養成事業（障害者がヘルパーの資格を取得し、障害者にサービスを提供するもの）

手話通訳者・精神保健福祉士の配置（障害福祉課） など

子育て

保護者の負担軽減や、少子化対策の一環として、医療費や児童手当の受給枠の見直しを行います。保育園については、定員の改正を行い、受入枠の拡大に努めます。

また、放課後児童クラブの運営支援のほか、児童虐待の早期発見・早期対応に努め、関係機関との連携を図りながら、虐待防止啓発事業を充実させます。

「乳幼児医療費助成制度」を「こども医療費助成制度」とし、助成対象の上限を、小学校就学前から小学校二年生に引き上げ
岩松小学校内の余裕教室を、岩松かりがね学童クラブの専用室として改修 など



富士市青少年の船



中央図書館の利用が祝日も可能に

教育

学校教育では、「確かな学力」の定着を目指し、保護者や地域の協力を得ながら、活力に満ちた、特色ある学校・安全な学校づくりに力を注ぎます。

伝法小・吉原商業高校屋内運動場改築工事

学校二学期制の全小中学校実施

学校生活・養護学級サポート員の配置

各幼稚園・小中学校に防犯ベル設置 など

青少年育成

創造性豊かな青少年育成のための事業を行います。

富士市・粟石町少年交流事業

富士市青少年の船 など

図書館

中央図書館は、祝日の開館やDVDの貸し出しを行うなど、より利用しやすくなります。また、「子ども読書活動推進計画」を実施し、読書活動の普及に努めます。

コミュニティ・男女共同参画

各地区のまちづくり推進事業の支援や、市民活動団体への支援施策を検討します。また、「男女共同参画プラン第二期実施計画」を実施し、各地区に推進員を設置します。アダプション・プログラムモデル事業（仮称）富士交流プラザ建設工事 など

生活安全・交通安全

防犯用パトロールカーによる巡回活動の強化や、地域での防犯活動への支援を行います。

交通安全対策としては、「第八次交通安全計画」を策定し、高齢者や児童などに対する安全教育を充実させます。

文化・スポーツ

市民の文化活動を支援するとともに、市制四十周年記念事業として多彩な催しを開催します。

また、だれもが楽しむことのできるスポーツの普及や、スポーツを行うきっかけづくりとなるプログラムの見直しを行います。

「見よ西風からの富士」CD作成

ピアノスト・フジ子ヘミングとモスクワフィルハーモニー交響楽団によるコンサート開催（ロゼシアター）

「富士山ゆかりの名品展」開催（博物館）

富士山の世界文化遺産登録活動

総合体育館・武道館の整備研究 など

国際交流

国際交流ラウンジ（F・I・L・S）を拠点に、外国人住民への支援活動を行うほか、オーシャンサイド市との姉妹都市提携十五周年として、友好訪問団を迎え、交流をより深めます。



防犯パトロールカー

安全で心地よい快適な街づくり



DMV（デュアル・モード・ビークル）は、道路と線路の両方を自在に行き来し、走行できる車輦です。

交通

新しい公共交通体系の構築と、既存のバス路線の見直しに向け、バス事業者と共同で実験・調査を行います。

新富士駅～富士駅～吉原中央駅を高頻度で連絡する「基幹的循環バス」の実証実験
DMVの市内デモンストラクション走行の実施 など

市街地整備・都市景観

土地区画整理事業などの基盤整備を進め、都市機能の充実を図ります。また、景観行政団体として、景観計画の策定を進めます。

新富士駅北側多目的施設の建設、駅前広場や歩道のバリアフリー化
煙突撤去モデル事業
新富士駅南地区土地区画整理事業 など

公園・住宅・緑化

公園の樹木・遊具の整備や、草花配布などの緑化事業を進めるほか、市民の花であるバラの普及や緑化団体の事業を支援します。
市営住宅については、岩本山団地の供用開始、高齢者対応住戸の改善などを進めます。

鎧ヶ淵の散策路・富士西公園の整備
森林墓園第三期工事区画の墓所整備
バラオーナー制度の実施 など

道路

安全で快適な生活が送れるよう、幹線道路や生活道路の整備を進めます。



富士西公園

第二東名自動車道側道整備事業（神戸橋橋梁工事）
旭町富士宮線バイパス・臨港富士線整備
狭あい道路拡幅整備事業 など

消防・救急

消防・救急体制を強化するとともに、市民に対し、応急手当（AEDの使用を含む）の普及啓発や、住宅用火災警報器の普及啓発を進めます。

高規格救急自動車の更新・配備 など

防災・治水

安全な暮らしを守るため、防災体制の強化や、情報伝達手段・施設の整備を進めます。

防災ラジオの有償配布

コミュニティFM放送を情報発信に活用
富士大橋の耐震化

「震災復興都市計画行動計画」の策定

富士早川などの改修、松原川調整池整備
潤井川洪水ハザードマップの配布 など



防災ラジオ

AEDを使った普通救命講習



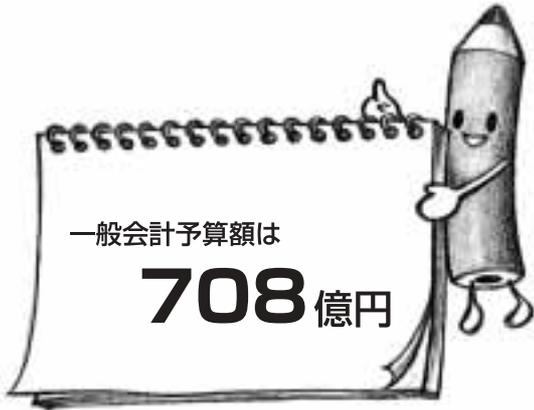
平成十八年度

元気実感

ときめき予算

平成十八年度の一般会計予算は、前年より三十二億円ふえ、七百八億円となりました。実質的には、平成五年以来、久々に七百億を超える予算となりました。各会計予算の合計も、前の年に比べ約七十八億円、五・七%の増加となりました。

市民の皆さんや企業が、元気と安心を実感できる事業に重点を置いた、「平成十八年度富士市の予算」を紹介します。



市の予算には、一般会計と特別会計、企業会計があります

一般会計では、市税を主な財源として、道路、福祉、教育など、行政の基本的な事業の経理を行っています。

特別会計と企業会計は、一般会計と切り離し、特定の事業ごとに分けて経理を行っています。

特別会計は、市が特定の事業を行う場合などに設けられる会計で、富士市には十八の特別会計があります。

企業会計は、民間企業と同じような経営をしている事業で、水道事業と病院事業があります。

歳入

市の自前の財源は、七二・五%

平成十八年度の一般会計予算の歳入に占める、市の自前の財源（自主財源）は約七二・五%。市税や公共施設の使用料、住民票などの発行手数料などがこれに当たります。この比率が高いほど、国や県からの補助金や交付金などに頼ることなく、安定的な財政運営が可能になります。

歳入の約六割は、皆さんから納めていただく市税

歳入の約六割を占めるのは、市民や企業の皆さんから納めていただく市税です。市税は、税制改正に伴う個人市民税の増収と、製造業を中心とした企業収益の回復による法人市民税の増収が見込まれます。前年度に比べ、約八億六千万円の増加を見込んでいます。

自主財源だけでは、すべて賄えません

自主財源に対して、国や県から補助・交付される国・県支出金や、国や銀行などから長期にわたってお金を借りる市債などを依存財源と言います。

市債は、単にその年度の資金不足を補うだけでなく、将来にわたって利用される道路や建物などの整備資金を将来世代の人たちにも公平に負担してもらおうとするものです。平成十八年度は、吉

歳出

福祉のために使われる民生費の割合が六年連続でトップに

歳出では、少子高齢社会に対応した基盤づくりや、市民生活の充実と安心・安全な社会づくりなどの事業に重点を置きました。

歳出を目的別に見ると、さまざまな福祉事業に充てられる民生費が二三・二%を占め、六年連続で最も高くなっています。少子高齢化などにより、福祉や医療にかかる経費が年々ふえています。

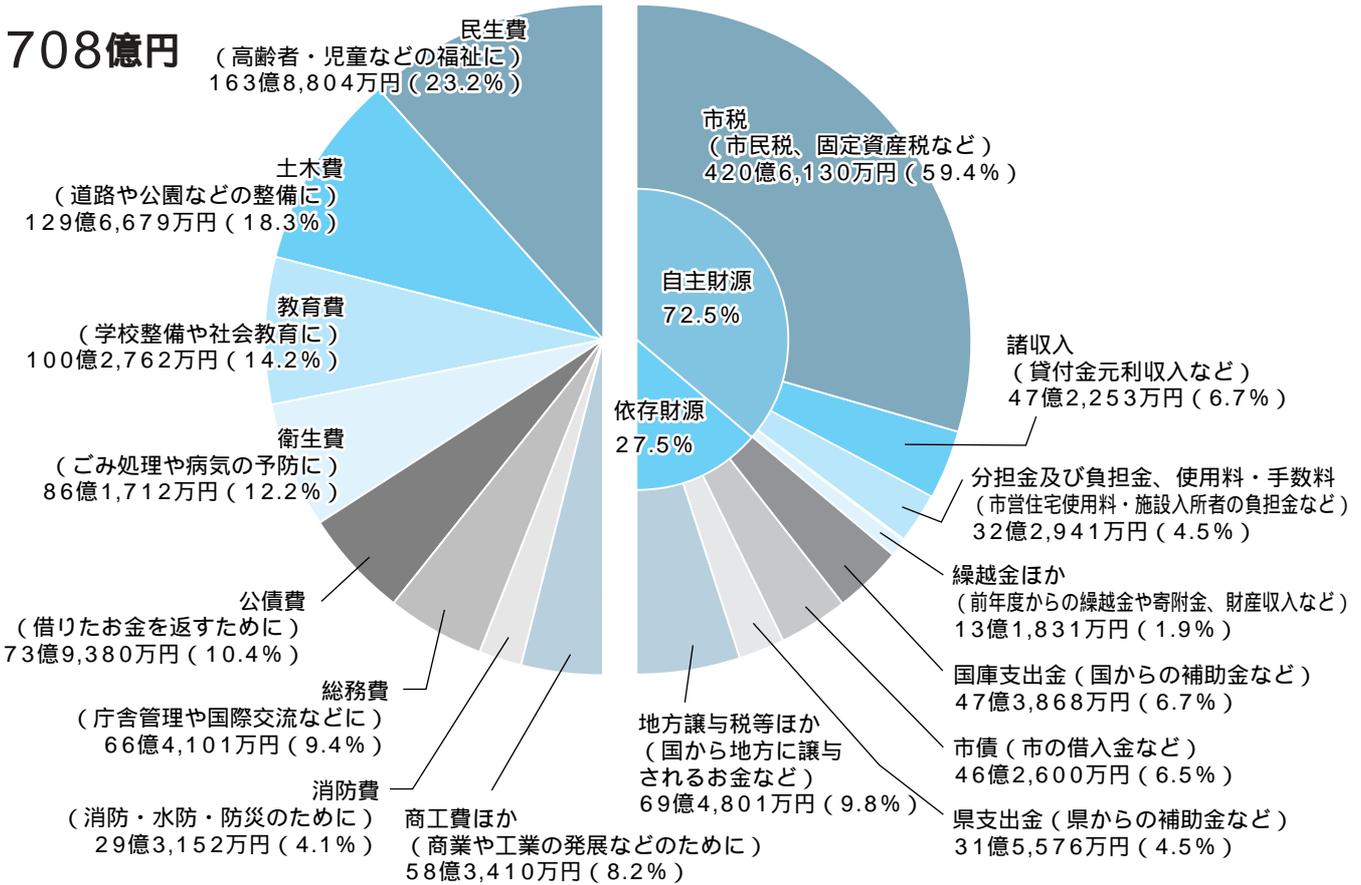
例えば、ことしの十月から市独自で始める「こども医療費助成事業」は、今まで小学校就学前までを対象としていた医療費助成を小学校二年生までとし、保護者の負担軽減を図ります。

そのほかの主な事業には、公共施設の耐震化事業、伝法小学校改築事業や新富士駅周辺B地区への多目的施設建設事業などがあります。また平成十八年度は、現在の富士市が誕生して四十周年に当たり、市制施行四十周年記念事業も予定しています。具体的な事業の内容については、二丁七ページの「施政方針」をこら

一般会計

歳出

歳入



一般会計予算を市民1人当たりに換算すると

29万814円

708億円を、3月1日現在の人口 (24万3,454人) で割りました。

学校整備や社会教育のために

4万1,188円

道路などの整備に

5万3,261円



福祉のために

6万7,314円



ごみ処理や医療のために

3万5,395円



特別会計

562億8,853万円

下の表では、財産管理特別会計(内山、旧吉原、旧島田、旧今泉、旧今泉・一色・神戸・今宮、旧元吉原、旧須津、旧吉永、旧原田)を省略してあります。

特別会計区分	予算額
国民健康保険事業	198億 円
老人保健医療事業	152億 円
介護保険事業	95億4,000万円
下水道事業	82億 円
公共用地先行取得事業	15億6,143万円
新富士駅南地区土地区画整理事業	7億7,700万円
墓園事業	5億 円
地方卸売市場事業	1億6,600万円
駐車場事業	9,700万円

企業会計

168億5,057万円

病院事業 126億6,605万円

市立中央病院は、市民の皆さんによりよい医療を安全に提供し、医療の向上に努めていきます。



水道事業 41億8,452万円

上水道の安定的な給水に向け、第7期拡張事業に基づく管網整備や、簡易水道の統合などを進めます。



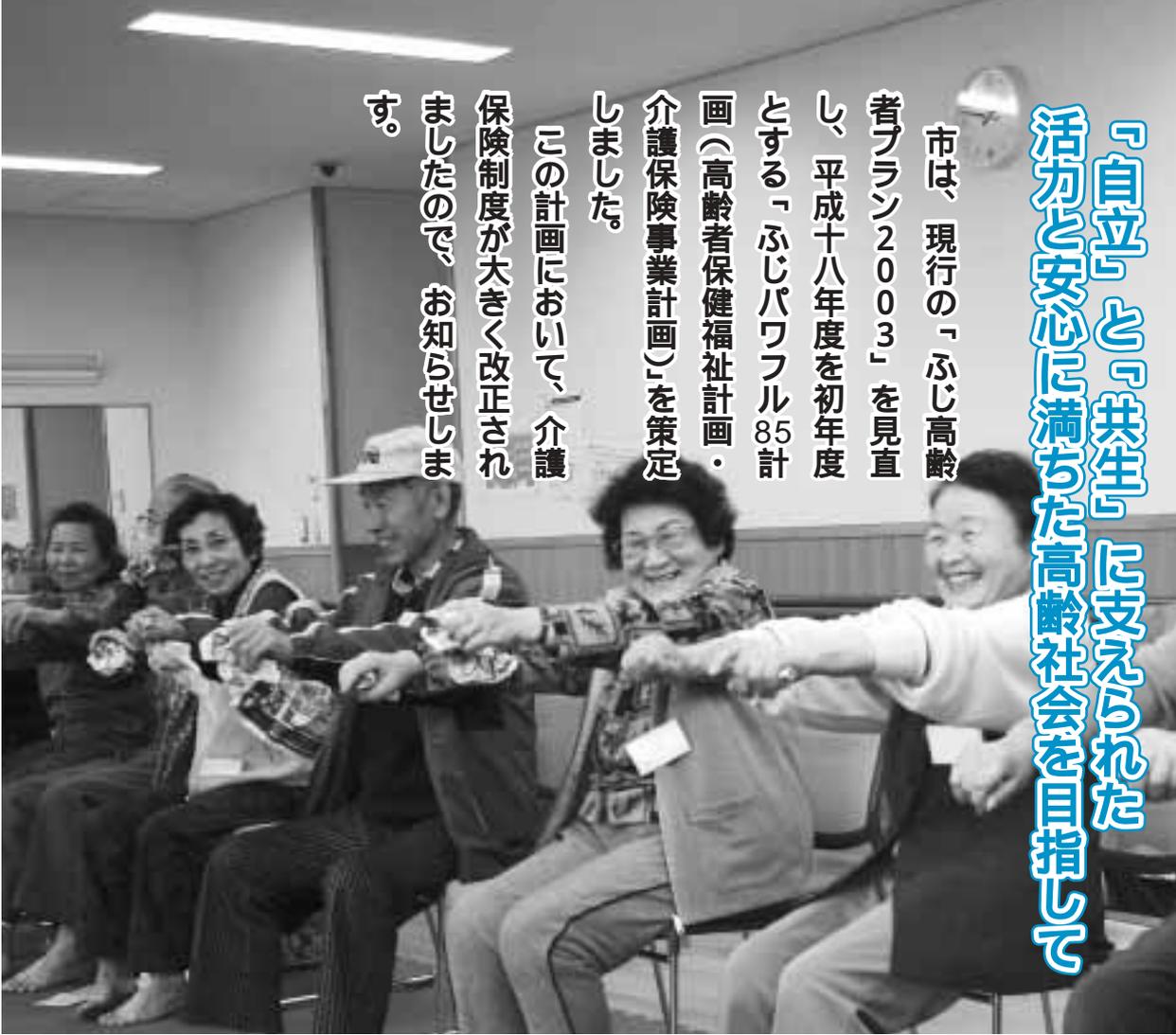
介護保険制度が変わります

問い合わせは介護保険課へ
☎五五―二七六七 FAX五―〇三二―

「自立」と「共生」に支えられた
活力と安心に満ちた高齢社会を目指して

市は、現行の「ふじ高齢者プラン2003」を見直し、平成十八年度を初年度とする「ふじパワフル85計画（高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）」を策定しました。

この計画において、介護保険制度が大きく改正されましたので、お知らせします。



住み慣れた地域での生活を支える

地域包括支援センター

地域包括支援センターは、高齢者の住み慣れた地域での生活を支えるため、高齢者の総合相談・包括的で継続的なケアマネジメントを行う地域介護の拠点です。保健師・主任ケアマネジャー・社会福祉士などが専門性を生かした総合的な支援を行います。

市は四月から、富士市高齢者地域包括支援センターをフィランセ内に設置します。また、市内十四か所に地域包括支援センターの相談窓口を設置し、地域で高齢者を支える体制を整備していきます。

介護が必要な状態にならないように

介護予防を重視

■要介護認定区分の変更

今まで六段階（要支援、要介護1～5）あった要介護認定の区分が、七段階（要支援1・2、要介護1～5）になります。要介護1とされていた区分の中で、介護状態が軽度の人を要支援2とし、今まで要支援だった要支援1の人とともに、

新しい予防給付の対象となります。これは、日常生活の一部に介助が必要であっても、適切にサービスを利用すれば改善する可能性の高い人を対象とするもので、生活機能の維持向上を目的に、運動器や口腔の機能向上や栄養改善などのサービスを行います。

■元気な高齢者には一般高齢者施策

すべての高齢者を対象に、介護予防についての知識を広めるため、パンフレットの配布や講演会を行います。

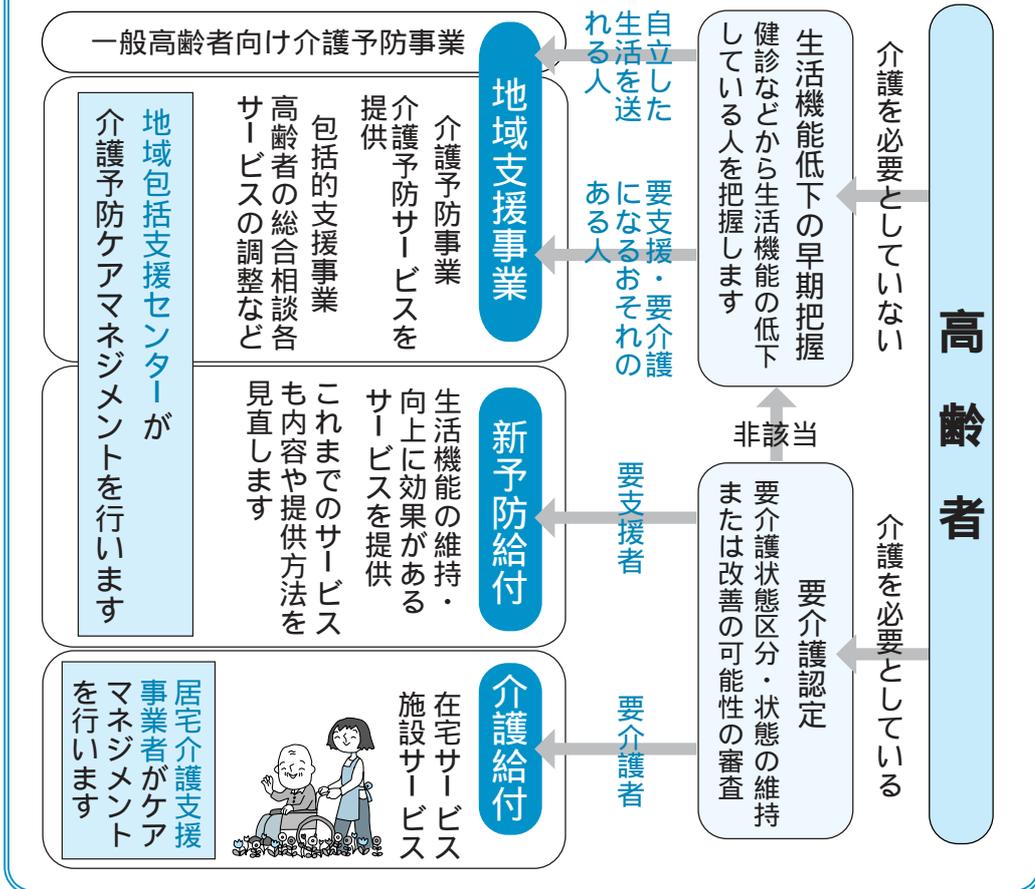
また、介護予防に関するボランティアの育成や活動支援を行います。

■虚弱な高齢者には特定高齢者施策

「介護予防検査」により、生活機能が低下している虚弱高齢者など、将来的に介護が必要となる恐れの高い高齢者（特定高齢者）を選定し、本人に通知します。検査の結果をもとに、地域包括支援センターの保健師などが本人と話し合い、介護予防事業のプランを作成します。

そのプランに基づき、公民館などを会場に転倒予防などの集団的なプログラムによる通所型事業と、閉じこもり予防などの訪問型事業を行います。

介護予防を重視した新たな仕組み



地域で生活し続けられるように 地域密着型のサービス

介護が必要になっても、住み慣れた地域で生活を続けることができるよう、地域密着型サービスを整備していきます。地域密着型サービスとは、日常生活圏

域を中心に提供されるもので、原則として、その市の市民のみが利用可能なサービスです。認知症対応型通所介護・小規模多機能型居宅介護・認知症対応型共同生活介護（グループホーム）・小規模特別養護老人ホームなどがあります。なお、今回、市内に七つの日常生活圏を設定しました。

月額基準額は三千六百二十五円 四月から新しい保険料

平成十八年度（二十年度の介護サービスの見込みや、富士市の高齢化の動向、所得構造から、第一号被保険者一人当たりの月額介護保険料（基準額）を三千六百二十五円としました。保険料段階を七段階に設定し、低所得者層の負担を軽減しました。

また、平成十七年度の税制改正によって、介護保険料の所得段階が上がる人には、今後三年間をかけて、段階的に保険料を引き上げていきます。

所得段階	年額
第1段階	生活保護受給者及び、世帯全員が市民税非課税で高齢福祉年金を受けている人 2万1,700円
第2段階	世帯全員が市民税非課税で、前年の課税年金収入と合計所得金額の合計が80万円以下の人 2万1,700円
第3段階	世帯全員が市民税非課税で、前年の課税年金収入と合計所得金額の合計が80万円超の人 3万2,600円
第4段階	世帯のだれかに市民税が課税されているが、自分は市民税非課税の人 4万3,500円
第5段階	市民税が課税され、前年の合計所得金額が200万円未満の人 5万4,300円
第6段階	市民税が課税され、前年の合計所得金額が200万円以上500万円未満の人 6万5,200円
第7段階	市民税が課税され、前年の合計所得金額が500万円以上の人 7万6,100円

介護予防検査を 受けましょう

ことしから、基本健康診査とあわせて介護予防検査を実施します。対象 市内在住の六十五歳以上の

内容 介護予防の観点から、従来からの基本健診項目に、生活機能に関する検査項目が追加されます。

場所 個別 各医療機関
集団 各公民館など
日程や費用など、詳しくは健康カレンダーをごらんください。

お知らせ

福祉用具の購入は、事業者指定制となります。指定特定福祉用具販売事業所以外からの購入は保険給付の対象外となりました。福祉用具のうち、車いすや介護用ベットなどの貸与は、原則として要介護2～5の人が利用できるサービスになりました。

住宅改修は、工事を行う前に申請することが必要になりました。四十歳から六十四歳の人（第二号被保険者）が利用できる介護サービスのうち、「特定疾病（老化が原因とされる病気）」に「がん末期」が新たに加わりました。

募 集

介護保険訪問調査員(臨時職員)の 随時登録者

介護保険課 ☎55-2765

訪問調査員に欠員が生じた場合、訪問調査員の採用希望者として登録された人の中から、面接などを行い採用していきます。

業務内容 介護保険法に基づく訪問調査(平日8:30~17:00)

登録資格 保健師・看護師・社会福祉士・介護福祉士・理学療法士・作業療法士のいずれかの資格及び、普通自動車運転免許を有する45歳くらいまでの人

登録方法 市販の履歴書に必要事項を記入し、直接または郵送で〒417-8601 富士市役所介護保険課へ

農業体験観光市民サポーター

商業労政課 ☎55-2777

落花生やそばの栽培、味噌・そばづくりなど、農業体験観光のサポートを行う市民ボラ



ンティアを募集します。研修後、農業体験観光の場でサポーターとして活躍していただく予定です。

研修期間 1年間(第1回は4/22(土)、毎月2回程度・主に土曜日)

研修内容 畑での栽培・農産物の加工作業、おもてなしのマナー教室への参加など(主な研修場所は須津川尻の畑)

参加費 実費(体験料など)

定員 20人(応募者多数の場合抽せん)

申し込み 4月19日までに、電話またはFAX・Eメールに郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、商業労政課へ ☎51-1997
✉sy-syougyou@div.city.fuji.shizuoka.jp

富士市勤労者健康対策協議会委員

健康対策課 ☎64-9023

市民の健康指標の向上を図るため、勤労者の健康推進について協議・検討するに当たり、広く市民の意見を反映するため、協議会委員の一部を公募します。

任期 6月~平成20年3月(2年間) 会議は平日の昼間で、年2回程度を予定しています。

定員 3人(作文などを考慮し選考)

謝礼 1回につき1万円

応募資格 市内在住の満18歳以上の勤労者(高校生除く)

申し込み 4月30日(必着)までに、応募用紙(健康対策課で配布、市ホームページからダウンロード可)に必要事項を記入し、勤労者の健康推進についての意見(400字程度)を添えて、郵送またはFAXで〒416-8558 本市場432-1 富士市役所健康対策課へ ☎64-7172

市営住宅 上堀団地 (シルバーハウジング)入居者

住宅政策課 ☎55-2817

募集期間 4月20日(木)~28日(金)

(土・日・祝日除く)

募集団地 上堀団地A棟202号室

(松岡2400-11)

間取り 2DK(6畳、6畳、DK)

家賃 1万8,600円~3万800円

(入居する人の世帯所得による)

共益費、駐車場使用料、緊急通報システムなどに係る経費は含みません。

敷金 家賃の3か月分

資格 60歳以上の単身世帯、夫婦のみの高齢者世帯(夫婦双方またはいずれかが60歳以上の世帯)、収入が法律の基準以下の世帯の人、市内在住で保証能力のある親族の連帯保証人がいる人など

申し込み 募集期間内に、直接または電話で住宅政策課へ
ペットを飼うことはできません。

オーシャンサイド市との姉妹都市提携15周年記念事業

国際交流ボランティアスタッフ募集!!

平成3年12月2日、富士市とアメリカ合衆国カリフォルニア州オーシャンサイド市が姉妹都市提携を結んで、ことしで15周年。

これを記念して、オーシャンサイド市の代表団を迎え、各種イベントを行います。このイベントの企画・運営・通訳に協力していただける市民ボランティアを募集します。



オーシャンサイド市

活動スケジュールとイベント内容

ボランティア説明会

4月27日(木) 19:00から(富士市役所)

ミーティング

5月11日、6月1・22日、7月13日

各木曜日 19:00から(富士市役所)

オーシャンサイド展

7月20日(木)~29日(土)(予定)

市民交流の日

「もっと知りたいオーシャンサイド」

7月22日(土)(予定)

15周年記念レセプション

7月22日(土)(予定)

対象 市内在住の18歳以上で、国際交流に興味があり、左記の・に参加できる人

定員 30人(応募者多数の場合抽せん)

申し込み 4月21日(必着)までに、電話またははがき・FAXに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、〒417-8601 富士市役所国際交流室へ(Eメールでも可)
☎55-2704 ☎51-1456
✉hisho@div.city.fuji.shizuoka.jp

4月の水道料金・下水道使用料

問い合わせ お客様センター ☎55-2846

~納入は便利で確実な口座振替で~

市指定金融機関の窓口で直接お申し込みください。

持ち物 通帳・印鑑(届印)・水栓番号(各世帯配付の「使用水量等のお知らせ」に記載) 申込書は金融機関にあります。



納入期限 4月30日(日)

(納入通知書は、今月中旬に郵送します)

口座振替日 4月28日(金)

暮らしの たより

お知らせ

地域の花いっぱい運動を応援します 花苗の無料配付

みどりの課 ☎55-2793

花いっぱいのまちづくりを目指して、公共性のある花壇用に花の苗を無料で配付します。年間分を一括して申し込んでください。

対象 公共性のある花壇

配付する苗と配付日(9:00~11:30)

*サルビア、マリーゴールド

6月8日(木)~10日(土)

*パンジー、スイートアリッサム

11月9日(木)~11日(土)

配付場所 広見公園西側駐車場

申し込み 4月21日(必着)までに、

申込用紙(みどりの課で配布、市ホームページからダウンロード可)または、



はがきに花壇名、希望する苗と本数、面積、植栽場所略図、受取希望日、代表者の住所、氏名、電話番号を記入し、〒417-8601 富士市役所みどりの課へ

平成18年度 富士市防災ラジオの有償配付の申し込み受け付けについて

防災危機管理課 ☎55-2715

昨年度に引き続き、富士市防災ラジオを有償配付します。

配付時期は7月下旬を予定していますが、場所・日時などの詳細が決定次第、広報ふじでお知らせします。

負担金額 個人1,000円

企業2,000円

いずれも市内に住所(所在地)を有することが条件です。

申し込み 5月31日(必着)までに、はがきまたはFAX・Eメールに住所、氏名(企業名)、電話番号を記入し、〒417-8601 富士市役所防災危機管理課へ ☎51-2040

☐bousai@div.city.fuji.shizuoka.jp

同報無線放送の受信が困難な場合は、防災危機管理課へお問い合わせください。

富士市青少年相談所「適応指導教室」の愛称が決定しました

青少年相談所 ☎52-4152

青少年相談所「適応指導教室」をより多くの人に知ってもらうため、愛称を決定したのでお知らせします。

愛称 **ステップスクール・ふじ**

適応指導教室とは、不登校などに悩む児童・生徒や保護者の相談を受け、学習や体験を通して、児童・生徒の自立性や社会性を高め、学校復帰を支援する場です。

母子家庭の母の就労支援事業

児童福祉課 ☎55-2763

母子家庭の母親の就労を支援する事業として、3つの事業を実施しています。

自立支援教育訓練給付金

パソコン・ホームヘルパーなど指定講座の受講料の40%に相当する額を支給します(上限20万円、下限8,000円)

高等技能訓練促進費

看護師、保健師、助産師、歯科衛生士などの国家資格取得のために2年以上修業する場合、月額10万3,000円を支給します(支給期間に制限あり)

常用雇用転換奨励金(雇用主に支給)

母子家庭の母を新規に非常勤雇用し、研修実施後、常用雇用労働者に雇用転換した雇用主に対して、母子家庭の母1人当たり30万円の奨励金を支給します。

~ **とも児童扶養手当受給者、**

または同様の所得水準の母子家庭の母が対象です。必ず事前に、児童福祉課へお問い合わせください。

農地基本台帳を電算化しました

農業委員会 ☎55-2880

個人情報保護法の条例化と、農業委員会の耕作台帳などの電算化により、4月1日から農地基本台帳を一元管理しています。

今後、証明書の交付及び農地の閲覧申請には「証明交付・閲覧申請書」が必要です(申請書類は農業委員会で配布)

詳しくは、農業委員会へお問い合わせください。

女性のための結婚相談 (女性専用の特設結婚相談)

社会福祉協議会 ☎64-6600

とき 4月23日(日) 10:00~15:00
ところ フィランセ東館1階相談室
相談料 無料

通常相談日は毎週水曜日と第2・4日曜日の10:00~15:00です。

ハッピーネスFujiへの入会方法など、詳しくは、相談時間内にハッピーネスFuji(富士市結婚相談所)へ

☎64-6604

下水道使用開始・休止の受け付けについて

下水道部管理課 ☎55-2800

4月1日から、下水道使用開始・休止の受け付けを一元化しました。

現在、下水道を使用している人、またはこれから使用する人は、転居や名義変更などの手続の際、下記へご連絡ください。

連絡先 お客様センター(水道庁舎1階) ☎55-2846

第45回 下水道いろいろコンクール 全国コンクール入賞者

下水道部管理課 ☎55-2800

昨年9月10日の『下水道の日』の一环として行われた「下水道いろいろコンクール」で、富士市から3人が入賞しました(学校、学年は応募当時のもの)。
作文部門 中学生

応募総数616点のうち入賞2点、入選5点

入選 大芝晴香さん(岩松中2年)
「地下で働く命の脈」

絵画・ポスター部門 小学生(低学年)
応募総数1,202点のうち入賞2点、入選5点

入選 萩野颯人さん(原田小3年)
絵画・ポスター部門 中学生

応募総数2,390点のうち入賞2点、入選5点

入選 川口舞華さん(吉原北中2年)

工業立地法に関する 届出窓口の変更について

工業振興課 ☎55-2906

これまで、工業立地法により必要な、一定規模以上の製造業種などを設置する事業者の届出窓口は県でしたが、4月1日から、市役所5階工業振興課に変更となりました。

富士市要約筆記奉仕員養成講座

障害福祉課 ☎55-2911
 要約筆記とは、難聴者・中途失聴者のために話の内容をその場で書いて伝える筆記通訳です。
 と き 5月18日・25日、6月1日・8日・15日・22日 各木曜日 10:00～16:00 全6回
 ところ フィランセ東館 3階ポランティアルーム
 対象 市内在住・在勤の人
 定員 20人(応募者多数の場合抽せん)
 受講料 無料(道具の貸し出し可)
 申し込み 5月8日までに、電話で障害福祉課へ

第25回 ボランティア講座

ボランティアセンター ☎64-7100
 ボランティア活動は、決して難しいことはありません。あなたらしいボランティアを探してみませんか?
 と き 5月13日 5月20日 各土曜日 10:00～12:00
 ところ フィランセ東館 3階ポランティアルーム
 内容(各1日のみの参加も可) 講演「ボランティアに求められる心」講師 太田昭道さん(特別養護老人ホーム富士楽寿園園長) ボランティアについてのパネルディスカッション
 定員 各70人(先着順)
 受講料 無料
 申し込み 電話でボランティアセンターへ



キッズエアロビクス教室

温水プール ☎36-2131
 と き 5月6日～7月8日 毎週土曜日 10:00～11:30 計10回
 ところ 温水プール軽体育室
 対象 小学生
 受講料 4,000円(保険料含む)
 定員 30人(応募者多数の場合抽せん)
 申し込み 4月22日(土)の8:30～9:00に、本人またはその家族が受講料と印鑑を持参し、温水プールへ

水中エアロビクス教室

温水プール ☎36-2131
 と き 5月15日～7月24日(7/17除く)毎週月曜日 各10回
 午前コース 10:00～11:30
 午後コース 19:00～20:30
 ところ 温水プール
 対象 一般(高校生以下除く)
 受講料 6,000円(保険料含む)
 定員 各40人(応募者多数の場合抽せん)
 申し込み 4月23日(日)の8:30～9:00に、本人またはその家族が受講料と印鑑を持参し、温水プールへ

4月の教育委員会会議

4月定例会を次のように開催します(傍聴できます)
 と き 4月20日(木) 13:30～
 ところ 市役所 8階政策会議室 教育総務課 ☎55-2865

フィットネスボール体操教室

市立富士体育館 ☎53-0900
 と き 5月12日～7月14日 毎週金曜日 13:30～15:00 計10回
 ところ 市立富士体育館剣道場
 対象 一般(高校生以下除く)
 受講料 4,000円(保険料含む)
 定員 20人(応募者多数の場合抽せん)
 申し込み 4月23日(日)の8:30～9:00に、本人またはその家族が受講料を持参し、市立富士体育館へ

市民れんらく版

県富士健康福祉センター「エイズ検査」エイズ感染が心配な人を対象に、無料・匿名で実施しています。

と き 毎月第2・4水曜日(偶数月第4水曜日は夜間検査あり) 予約制。結果は採血後1時間30分後。
 ところ 県富士健康福祉センター1階予診室
 内容 問診、採血、結果説明、相談
 申し込み 事前に県富士健康福祉センター健康増進課へ ☎65-2206
<http://www.pref.shizuoka.jp/kenhuku/kf-25>

元吉原ウィンドアンサンブル定期演奏会
 と き 5月4日(木) 国民の休日 開演 13:00
 ところ ロゼシアター大ホール
 入場料 500円(小学生以下無料) ロゼチケットセンター(☎60-2500)で発売中です。
 問い合わせ 元吉原ウィンドアンサンブル事務局 ☎53-2140

4月の休日当直医

Emergency Hospitals Schedule in April
 Lista de Pronto-Socorro em Abril

内科・小児科・外科 Internal Medicine/Pediatrics/Surgery Clinica Geral/Pediatria/Cirurgias
 救急医療センター ☎51-0099 津田 平日19:00～翌8:00 土曜日14:00～翌8:00 日曜・祝日 9:00～翌8:00
 歯科 Dentistry Dentistas
 歯科医師会館 ☎53-5555 伝法 9:00～16:00
 ダイヤル当直医案内 ☎51-9999

とき 産婦人科 Gynecology & Obstetrics Gineco-Obstetrica

9(日) 武田産婦人科医院 63-5122 宮島
 1(日) たむらレディースクリニック 65-7777 米之宮町
 23(日) 中島産婦人科医院 51-4188 青島町
 2(土) 長谷川産婦人科医院 53-7575 吉原5
 3(日) 宮崎クリニック 66-3731 松岡

がんか 眼科 Ophthalmology Oftalmologia

渡辺クリニック 22-1500 富士見台
 つるが眼科医院 63-1090 水戸島本町
 芦川病院 52-2480 中央町
 中西眼科クリニック 36-1800 中野
 杉浦眼科 65-8500 川成新町

じびか 耳鼻科 Otorhinolaryngology Otorrinolaringologia

アミクリニック 981-3341 清水町
 はら仙石耳鼻科 967-2012 沼津
 北村クリニック 62-7088 青葉町
 岩淵医院 951-4161 沼津
 井上医院 921-8765 沼津

4月の柔道整復師会 休日当直当番



じゅうどうせいふく Bonsetter Clínica de osteopatia

岡本接骨院 34-3511 中里
 下村接骨院 35-3663 大淵
 佐野接骨院 52-0774 吉原4
 佐藤接骨院 71-7396 天間
 はぎはら接骨院 72-4524 天間

暮らしの たより

募 集

ふれあい看護体験参加者

中央病院看護部 ☎52-1131 内線2207
看護師とともに、看護することや人の命について理解と関心を深めてみませんか。

施設名(定員)・とき・ところ
中央病院(10人) 5月9日(火) 9:00~15:00 〒417-8567 高島町50
川村病院(3人) 女性のみ対象 5月12日(金) 9:30~16:00 〒416-0907 中島327
聖隷吉原病院(4人) 5月17日(水) 8:30~13:30 〒417-0026 南町1-32
湖山病院(各日6人) 女性のみ対象 5月8日(月)・10日(水)・12日(金) 9:00~16:00 〒417-0801 大淵405-25
鷹岡病院(各日3人) 5月11日(木)・12日(金) 9:00~15:00 〒419-0205 天間1585
いきいきリハビリテーション病院(5人) 5月10日(水) 9:00~16:00 〒419-0205 天間1640-1

申し込み 4月30日(消印有効)までに、往復はがきに希望施設名及び希望日、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、洋服のサイズ(S・M・Lなど)を記入し、希望する施設の「ふれあい看護体験係」へ問い合わせ 県ナースセンター ☎054-202-1761

富士市景観計画策定 市民懇話会委員

建築指導課 ☎55-2903

市は、景観法に基づく景観行政団体の資格を取得し、景観計画の策定を進めています。

この計画に、広く市民の皆さんの意見を反映させるため、市民懇話会の委員の一部を公募します。

任 期 5月~平成20年3月(会議は平日の昼間または夜間で、計9回程度を予定)

応募資格 市内在住の18歳以上で、4年制大学の1~3年生または短大の1年生、その他一般

定 員 各2人

報 酬 1回につき5,000円

申し込み 5月9日(消印有効)までに、応募用紙(建築指導課・各公民館で配布、市ホームページからダウンロード可)に必要事項を記入し、直接または郵送・FAXで〒417-8601 富士市役所建築指導課へ(Eメールでも可) ☎53-2773

☎http://fujishi.jp/cityhall/tosise-b/sidou/
✉kentiku@div.city.fuji.shizuoka.jp

富士市コールセンター

おしえて コベルふじ

ちょっとしたお問い合わせに、専門のオペレータがお答えします

☎53-1111

受付時間 8:30~19:00
(土・日・祝日もやってます)

FAX 51-0623 ☎callfuji@ex.city.fuji.shizuoka.jp

講座教室

エクセル初級・ワード初級・ 韓国語教室

ラ・ホール富士 ☎53-4300

エクセル初級教室

と き 6月6日~29日
毎週火・木曜日

10:00~12:00 計8回

と ころ ラ・ホール富士7階OALーム

定 員 20人(応募者多数の場合抽せん)

受講料 8,500円(テキスト代含む)

ワード初級教室

と き 6月6日~29日
毎週火・木曜日

19:00~21:00 計8回

と ころ ラ・ホール富士7階OALーム

定 員 20人(応募者多数の場合抽せん)

受講料 8,500円(テキスト代含む)

さあはじめよう韓国語教室

と き 6月2日~8月4日
毎週金曜日 19:00~20:30

計10回

と ころ ラ・ホール富士7階AVLーム

定 員 30人(応募者多数の場合抽せん)

受講料 5,000円(教材費含む)

..... ~ とも

対 象 勤労者及び一般

申し込み 5月8日(月)~14日(日)の
9:00~20:30に、直接ラ・ホ

ール富士へ

代理申し込みについては1人のみ
できます。当せん者は病気など特
別な理由がない限りキャンセルで
きません。

ドッチビー教室

スポーツ振興課 ☎55-2876

と き 5月12日・19日・26日、6
月2日 毎週金曜日

19:00~21:00 計4回

と ころ 市立富士体育館

対 象 市内在住・在勤の小学生以
上の人

定 員 50人(応募者多数の場合抽せん)

受講料 200円(保険料)

申し込み 4月28日(必着)までに、
往復はがきまたはEメールに教室
名、住所、氏名、年齢(学年)、電
話番号を記入し、〒417-8601 富士
市教育委員会スポーツ振興課へ

☎ky-sports@div.city.fuji.shizuoka.jp

我が家のアイドル



高橋 宏弥ちゃん H17.5.23生
父・崇宏 母・有紀(横割)
「将来はギタリストかな!?
元気いっぱい育ててネ」



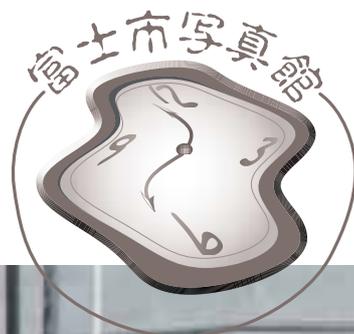
宮澤 維吹ちゃん H17.4.12生
父・健一 母・利枝(石坂)
「ことしはイヌ年。イヌに
変身!!」

写真募集
子どもの名前(ふりがな)、生年
月日、保護者の名前、住所、電話番
号、25字以内のメッセージを添え
て、直接または郵送で〒417-
8601 富士
市役所広報広聴課へ



現在の様子

= 30 =
街をきれいにする運動
昭和44年5月20日
(今泉地区泉町)



当時のことを知り、以前今泉地区花の会会長としても活動していた
内田 冬子さん(今泉6)

ごみの集積場だったところを花壇に
当時、地域で街をきれいにしようと、
花の好きな人が中心となり、和田川のせ
ぎわく橋のすぐ脇に花壇をつくったと聞
いています。それまでそこは、草が生え
ごみ置き場になっていた場所でした。
私が、今泉地区花の会会長を務めてい
た昭和五十五年ころも、ごみの集積場や
交差点の端などを利用して、花壇づくり
を行ってきました。今、花壇にはパンジ
ーやサルビアなどの草花が植えられてい
ますが、当時はツツジや菊などが植えら
れていたんですよ。
花のある風景は心が和みます。この運
動のように、自分たちが住んでいる街を
きれいにしようと、地域で花壇の管理な
どができたらずばらしいと思います。み
んなが「自分たちの街を、自分たちの手
で」と思うようになったらすてきですね
花壇の後ろの風景も懐かしいです。写
真のあたりは昔、吉原市の中心地として
栄えていたところです。和田町交差点か
ら「せぎわく」バス停のあたりまではに
ぎやかな商店街でした。昔、子どもの手
を引いて歩いた光景を思い出しますね。

こちら編集室

配属されて、あっという間に4年。月日の流れるのは早かった。まだまだやり残したことは多いけれど、充実したときだった。新しい編集室を楽しみにして、幕を引くことにしよう。(杉)突然の異動となりました。これからいろいろな企画を考え、皆さんにお届

けするつもりだったのですが、それまでできなくなり残念無念です。(コ)編集室で過ごした6年間、一番うれしかったことは、取材にご協力いただいた多くの皆さんから、「ありがとう」という言葉をいただいたことです。感謝・感激!(幸)

人口	243,454人 (前月比+43)
男	120,970人 (+22)
女	122,484人 (+21)
世帯	87,311世帯 (+46) 3月1日現在
編集・発行	富士市総務部広報広聴課
〒417-8601 静岡県富士市永田町1-100	
☎0545-51-0123代	☎0545-51-1456



平成十八年四月五日号(毎月五日・二十日発行)

ホームページ <http://fujishi.jp/>

広報ふじは環境に優しい古紙100%の再生紙と大豆油インキを使用しています